

内水はん濫であっても外水はん濫であっても 浸水の中を避難することは とても危険です。



【浸水してからの自宅滞在が困難な住居】では「浸水前の早めの自宅外避難」が重要です。一方、【浸水してからも安全に自宅滞在が可能な住居】では、「浸水してからの自宅外避難」はせずに「自宅に滞在」することが安全です。

「住居の位置」や「住居の構造」や「既に浸水が生じている状況なのか否か」によって「自宅外避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。左の「スタート」から該当箇所をたどると「あなたの家庭での行動指針」が示されますのでご参考ください。

スタート

ご自宅は、**木曾川堤防の近く**もしくは、6～7ページの気づきマップや8～9ページの浸水想定区域図における**木曾川の外水はん濫**の影響を受けやすい地域ですか？

いいえ はい

ご自宅は、6～7ページの気づきマップや8～9ページの浸水想定区域図における**新郷瀬川の外水はん濫**の影響を受けやすい地域、**内水はん濫**の影響を受けやすい地域ですか？

あなたの家庭での行動指針

【浸水前では】	【浸水後では】
○自宅外避難 ○自宅滞在	✖自宅外避難 ○自宅滞在

浸水してからの外出は危険ですので、避難をするなら**早めの避難を!**自宅滞の場合は、**家屋や家財の被害軽減を図りましょう。**なお、浸水時にはライフラインが止まる可能性が高いので**十分な備えを!**

あなたの家庭での行動指針

【浸水前では】	【浸水後では】
○自宅外避難 △自宅滞在	✖自宅外避難 △自宅滞在

国や県の計算結果に基づくならば、浸水の深さや速さは深刻にはなりにくいと想定されています。しかし、平屋建てなどの場合や想定外の浸水時には安全な滞在場所が無くなる可能性も考えられますので、念のために**早めの避難を!**

あなたの家庭での行動指針

国や県の計算結果に基づけば、自宅の浸水は想定されていません。しかしそれは、あくまで1つのシナリオ設定での計算結果ですので、念のための日ごろからの警戒や備えは重要です。特に、自宅は浸水しなくとも外出先が浸水した場合などでは、交通機関の停止により帰宅が困難となるケースは少なくありませんので、いざというときのための家族との連絡方法などを確認しておくことは重要です。

ご自宅は頑丈な建物の高層階^{*1}ですか？

いいえ はい

現在の木曾川の水位は、はん濫注意水位^{*2}を越えて上昇中ですか？

いいえ はい

ご自宅は、6～7ページの気づきマップや8～9ページの浸水想定区域図における**内水はん濫**の影響を受けやすい地域ですか？

いいえ はい

あなたの家庭での行動指針

【浸水前では】	【浸水後では】
○自宅外避難 ○自宅滞在	✖自宅外避難 ○自宅滞在

浸水してからの外出は危険です。避難をするなら**早めの避難を!**自宅滞の場合は、**家屋や家財の被害軽減を図りましょう。**なお、浸水時にはライフラインが止まる可能性が高いので**十分な備えを!**

あなたの家庭での行動指針

【浸水前では】	【浸水後では】
◎自宅外避難 ✖自宅滞在	✖自宅外避難 ✖自宅滞在

浸水してからは外出も滞在も危険となることが想定されます。**早めの避難を!**

あなたの家庭での行動指針

【浸水前では】	【浸水後では】
○自宅外避難 △自宅滞在	✖自宅外避難 △自宅滞在

「木曾川の外水はん濫は無いものの、内水はん濫の発生が考えられる」という場合、国や県の計算結果に基づくならば、浸水の深さや速さは深刻にはなりにくいと想定されています。しかし、平屋建てなどの場合や想定外の浸水時には安全な滞在場所が無くなる可能性も考えられますので、念のために**早めの避難を!**

あなたの家庭での行動指針

現状では「さしあたって木曾川の外水はん濫の可能性は無さそうだ」とのことですが、この先でもしも木曾川の外水はん濫が発生するような事態となれば、ご自宅では深刻な浸水となる可能性があります。引き続き、木曾川の水位や降雨状況等に注意してください。

*1: 「頑丈な建物の高層階」とは、はん濫流が衝突しても壊れない建物（鉄筋・鉄骨・コンクリート造のマンション等）で、はん濫流が到達しないほどに高い安全な場所がある住居のことを意味しています。

*2: 「はん濫注意水位」については、16～17ページの「河川の水位の情報」で解説していますのでご覧ください。

浸水時には多くの交通機関が停止します。

道路や鉄道が多くの箇所では通行不能になり、「いつもの交通手段」や「いつものルート」が利用出来なくなる可能性が高まります。自宅外への避難の際はもとより、外出先からの帰宅も困難となる場合が多いので、帰宅の際は早めの行動が重要となります。自家用車での移動の際には、気づきマップなどに記載の浸水域を避けるようにしましょう。